

# かみす社協ニュース

発行 社会福祉 神栖市社会福祉協議会事務局(神栖市溝口1746-1) TEL 0299-93-0294(代表) FAX 0299-92-8750(代表)  
ホームページ http://www.kamisushakyo.com メールアドレス mail@kamisushakyo.com

## 保育園や幼稚園の先生の保育相談に応じます!!

### 子どもの発達 保育者サポート相談

神栖市社協では発達障害への‘理解と支援の輪’を広げることがを目的に勉強会や研修会を継続的に開催するとともに、発達障害児の支援に直接関わる保育所(園)や幼稚園の先生を対象として、専門相談員(臨床発達心理士)と保健師(市健康増進課)が直接、園を訪問する“保育者サポート相談”を実施しています。「気になる行動をするお子さん」の行動の捉え方や園の特徴を活かした支援を一緒に考え、保育の中で取り入れられるアイデアや工夫がでるところを、専門的な視点からアドバイスします。

保育の場面で困っていること、気になっていることなど、お気軽にご相談下さい。



#### 【サポート相談の流れ】

【まずは社会福祉協議会までお電話ください】

- 事前に予約が必要です。
- 相談内容について概略を伺います
  - ・対象児の性別、年齢
  - ・園での生活状況
  - ・気になる行動(特徴的な行動など)
- 費用は無料です
- 秘密は厳守します



【相談員・保健師・担当職員が園を訪問します】

- ①場面観察(2時間程度)
  - ・可能な範囲で実際の保育場面を観察します。
- ②相談・ケース検討会(場面観察終了後2時間程度)
  - ・具体的な支援について情報交換、アドバイスします。 ※①、②を1日の内に実施します
- ③保護者相談(希望時のみ)
  - ・ご家庭と保育の共通理解を深める保護者相談です。
  - ※①、②とは別の日にお伺いします。



※お問合せ先:神栖市社協 神栖本所 地域福祉推進センター 担当:三浦 電話 0299-93-0294

## 第199回 地域ネットワーク勉強会のお知らせ

### 「障害者の生活を守る成年後見人の役割」

講師:稲嶺裕子 氏(社会福祉士) / 茨城県社会福祉士会事務局  
NPO法人スペース空(日立市) 相談支援専門員

知的障害や精神障害、認知症などにより判断能力が不十分な人たちは、預貯金などの財産管理や、介護サービス利用・施設入所に関する契約行為、遺産相続などをする必要があっても、自分では正当な判断でこれらの手続きをすることが難しい場合があります。また、自分に不利益な内容であるリフォーム詐欺や訪問販売など悪徳商法の被害に遭う危険性も高まります。成年後見制度は、このような判断能力の不十分な方々を法律面や生活面から支援する制度です。

実際には障害のある本人が成人してもご両親が健在の方の場合、これらの行為を代行されることが多いと思われませんが、今から'もしも...の時'に備えておくために、支援者やご家族、周りの方が制度の内容や後見人の役割とその活用を知っておくことで、将来、本人を守ることに繋がります。

今回の勉強会では、知的障害者の成年後見人4件、成年後見補佐人2件を受任し、専門職後見人として活動している稲嶺裕子さんより、実際の活動から見てきた障害者の権利と生活を守る後見人の役割、制度活用の重要性についてお話いただきます。ぜひご参加下さい。

※お問合せ先:神栖市社協 神栖本所 地域福祉推進センター 担当:三浦 電話 0299-93-0294

**8月26日(火)**  
午後1時～午後3時  
保健・福祉会館 2階 研修室  
参加費無料・申込み不要

かみす社協ニュースは皆様から寄せられた会費を使用して発行しています

## 赤い羽根 共同募金 募金に協力して下さるお店・事業所を募集します

赤い羽根共同募金運動が今年も10月から全国一斉に始まります。子どもから高齢者まで、多くの市民の皆様が身近な場所で、自由に募金できる環境づくりのため、下記の協力をして下さる店舗・事業所様を募集します。

### ①「募金ができる自動販売機」の設置

(問合先:茨城県共同募金会 電話 029-241-1037)

打合せスペースや社員食堂、休憩所などに清涼飲料水の自動販売機を年間を通じて設置させていただき、その売上の一部が寄付されるものです。自販機を設置することで、企業の社会貢献になります。



### <集まった募金は下記の事業に使われます>

- 募金は茨城県全体の福祉の充実と神栖市の下記の地域福祉事業に活用されます。
- 一人暮らし高齢者を対象とした「さわやか会食会」
- 福祉・介護・医療の仕事に関心のある高校生を対象に開催する「進路アシストカレッジ」
- 小中学校、企業を訪問しての「福祉教育出前講座」

※①～③いずれの協力店様も『かみす社協ニュース』10月号以降にお名前を掲載させていただきます

### ②募金箱をお店のレジ近くや窓口付近に設置

お店に設置した募金箱で、市民の皆さんに気軽に募金に参加していただくものです。昨年度は市内171か所の募金箱へ総額377,402円が寄せられました。今年度は200か所以上の設置を目標としています。

### ③職場での募金活動

職場に設置した募金箱で、社員の方々を中心に募金活動に取り組んでいただきます。



ご連絡いただければ赤い羽根やお子さん向けの風船、募金箱などの資材を持って職員が協力店様を9月中に訪問いたします。羽根、風船の補充も本会職員が行い、協力店様の費用負担はありません。

募金箱募金、職場での募金の運動期間  
平成26年10月1日～平成26年12月31日

問合先:茨城県共同募金会神栖市支会(神栖市社協内)  
神栖本所 電話 0299-93-0294 担当:名雪  
波崎支所 電話 0479-48-0294 担当:塚塚

## 「傷病者役で参加」ボランティア募集!

### 平成26年度 茨城県・神栖市総合防災訓練

**8月30日(土)**  
9:30～12:30  
神栖中央公園

8月30日9時30分、神栖市で震度6強を観測する地震が発生し、大津波警報も発令。家屋の倒壊、車両の多重衝突等により多数の負傷者が出た...との想定で、「茨城県・神栖市総合防災訓練」が実施されます。メイン会場となる神栖中央公園では公園全域を使った様々な訓練が行われる予定ですが、今回の訓練種目の一つである「多数傷病者対応訓練」「集団救急対応訓練」で「傷病者役」を演じていただけるボランティアを、以下の要領で募集します。

- 集合時間 7時30分(雨天決行。終了・解散は午後1時頃になる見込みです。)
- 集合場所 神栖中央公園 備蓄倉庫(ふれあいの丘の南東側)の前
- 参加内容 消防機関、医療機関が実施する人命救出訓練や救援救護訓練で、傷病者役として参加します。「自宅で地震に遭い負傷」「高速バス乗車中に地震が起こりバス衝突」といった、実際に起こりうる場面を想定したリアルな訓練です。ボランティアさんには「重傷患者」「軽傷者」「頭を打って一時的に記憶を喪失」など、様々な役が割り当てられます。  
※詳細については、8月23日(土)頃までに各参加者に別途郵送にてご連絡します。
- 注意事項
  - ・訓練前にアザや出血など傷の特殊メイク、及び演技指導を行います。
  - ・特殊メイクで粘土やペイント類を使用しますので、汚れてもよい服装で参加下さい。
  - ・飲料水は各自ご用意ください。屋外での長時間訓練となりますので、暑さ対策も充分にお願いします。
- 募集定員 20名(小学4年生以上。ただし小学生は保護者同伴とします。)
- 申込先 神栖市社会福祉協議会 神栖本所 TEL 0299-93-0294(担当:相良)  
※氏名、住所、電話番号、年齢・性別、駐車場利用希望を確認させていただきます。  
※上記内容を本会宛にメール(mail@kamisushakyo.com)で送信いただいても結構です。  
※申込時に伺った個人情報については、防災訓練以外の目的には使用しません。



～ 総合学習などの福祉教育をサポート ～

## 福祉体験に取り組んでいます！

社協が実施する福祉教育出前講座は、児童が分かりやすく、楽しく福祉を学ぶために、高齢者や障害のある方、ボランティア活動をされている方など、地域の皆さんにご協力をいただき、“心と体”で感じられる体験を提供します。

今年7月までに市内5つの小学校が出前講座を利用しました。そのうち2校の取り組みをご紹介します。

### 平成26年4～7月の実績

学校	学年	内容
大野原西小学校	3年	高齢者との昔遊び
植松小学校	4年	人形劇による福祉講話 アイマスク・手話・車いす体験
深芝小学校	5年	グループワーク「地域でみんなができること」 車いす・アイマスク・点字体験
大野原小学校	6年	グループワーク「地域でみんなができること」 車いす・アイマスク・高齢者疑似体験
横瀬小学校	6年	高齢者との昔遊び

### 大野原西小学校3年生 編



6月20日(金)に3年生64名による『西小なかよしパークタイム』を開催しました。この集いは、児童と地域の方々や昔遊びを通じて交流し、地域の方々に対する尊敬と思いやりの気持ちを高めることを目的に企画され、学区のシニアクラブの皆さん27名が協力しました。

昔遊びは、お手玉やけん玉など8種目。シニアクラブの皆さんは昔を思い出しながら、遊びのコツを熱心に児童に教えました。そのコツを自分のものにしようとする児童の一生懸命な姿や、時折シニアクラブの方たちと仲良くお話しをするほほえましい姿が見られました。

### 植松小学校4年生 編

6月27日(金)に人形劇を交えての福祉講話、7月2日(水)にアイマスク体験、7月10日(木)に車いす・手話体験に取り組んだ4年生91名。

3日間の福祉教育出前講座を通じ“相手の立場に立って考える大切さ”をキーワードに『今、自分にできる事って何だろう?』とみんなで考えました。児童からは「困っている人がいたら助けること」という意見が出されました。近くの友達からクラス全体、学年全体、学校全体そして地域へ思いやりの輪を広げていききっかけになったようです。



福祉教育出前講座は、学校や企業等の依頼に応じて、その学習や取り組み内容・状況に合ったプログラムを依頼者と共に計画し、本会職員だけでなく、地域のサポーターなど様々な方々の協力を得ながら実施しております。児童・生徒だけでなく、学校教諭に向けた「福祉教育」を実施する事も可能です。また、車いす等の体験機器の貸し出しも対応しております。ご相談をお待ちしております。

### 夏休みの調べ学習で『福祉』について学びたい！

学校が夏休みに入り、児童から「点字についてもっと学びたい」「車いすの種類を教えて欲しい」「ボランティア活動について知りたい」などの質問が社協へ寄せられるようになりました。

「学校から福祉について調べ学習の宿題が出た」「福祉を研究発表のテーマにした」といった内容でも、そのテーマに沿ったアドバイスをさせていただきます。福祉についての参考図書やビデオも取りそろえています。夏休みの調べ学習に、ぜひ神栖市社協をおたずね下さい。



問合せ先 神栖市社協 地域福祉推進センター 神栖本所 担当：飯田 0299-93-0294  
波崎支所 担当：坂本 0479-48-0294

## 社協会員は一年を通じて募集しています

神栖市社協が実施する地域福祉事業は住民の皆様から寄せられる会費によって支えられています。現在、行政区のご協力をいただき、各世帯に一般・特別会員（会費額：一般1,000円、特別5,000円）としてのご加入をお願いしています。

行政区未加入の方も、最寄りの社協窓口で加入受付をしています。窓口へお越しになれない場合でも、銀行振込による加入のご案内をさせていただくことができます。

ぜひ社協会員としてご加入いただき、神栖市の地域福祉向上にご参加ください。

神栖本所 溝口1746-1 保健・福祉会館内 電話:0299-93-0294 (担当：名雪)

波崎支所 土合本町3-9809-158 はさき福祉センター内 電話:0479-48-0294 (担当：篠塚)

## 身近な地域で開催！8月のわくわくサロン・子育てサロン

ティータイム	8/2(土)	はさき生涯学習センター	＜お休みのサロン＞	
友愛サロン	8/4(月)	溝口集落センター	ほっとサロン	わくわくサロンすこやか
わくわくサロンはさき	8/4(月)	仲町区民館	わくわくサロン知手浜	ふれあいサロンめだか
わくわくサロン知手団地	8/18(月)	東町区民館	わくわくサロンあけぼの	わくわくサロン松原
わくわくサロン松原	8/18(月)	若ノ松区民会館	わくわくサロン大潮	わくわくサロンにこにこ
子育てふれあい広場ひよこ	8/21(木)	市保健・福祉会館	平泉わくわくサロン	わくわくサロンいきすはら
			なごみ会	

サロンは、家に閉じこもりがちで地域の高齢者や障害者、子育て中の親子などが身近な場所に集まって気軽に楽しい時間を過ごす活動です。

☆お問い合わせは 神栖市社協 神栖本所 0299-93-0294(担当:下田)、波崎支所 0479-48-0294(担当:横田)まで

## つ も る 善 意

6/1～6/30受付 順不同・敬称略



### 多大な寄付をありがとうございます

平成26年6月16日、シニアカラオケ愛好会波崎・水戸連合実行委員会様から、チャリティーカラオケ大会で参加者の皆様から寄せられた寄付金102,000円をいただきました。池永進委員長(写真右)に坂本義勝社協常務理事から善意の証が贈られました。お寄せいただいた善意は、神栖市社協が実施する地域福祉事業へ大切に活用させていただきます。ありがとうございました。

寄付金預託 合計 102,000円

●社協の地域福祉活動へ  
シニアカラオケ愛好会波崎・水戸連合実行委員会

物品預託 102,000円

●ベルマーク

三国屋建設(株) 波崎水産加工業協同組合

鹿島共同再資源化センター(株) 匿名1件

●使用済切手 17,731枚

山澤正男 伊藤けい子 息栖小学校

大野原郵便局 大勝建設(株) 匿名3件

中央図書館 波崎水産加工業協同組合

三国屋建設(株) 神栖アウトドアクラブ

鹿島サンケン(株) JSR(株)鹿島工場

鹿島食品(株)振興会

鹿島共同再資源化センター(株)

アマチュア無線奉仕団神栖地区分団

●その他

田中芳子(車いす1台)

山澤正男(タオル42本、書き損じハガキ61枚)

馬場裕美子(電動車いす1台)

五十嵐加世(バスタオル8枚)

岡崎好江(書き損じハガキ79枚)

菅谷 茂(将棋盤・駒1セット、麻雀(パイ)1セット)

小沼幸雄(書き損じハガキ76枚、未使用ハガキ194枚)

匿名5件(使用済インクカートリッジ66個、書き損じハガキ23枚、扇子7本、リハビリパンツ4袋)

※使用済切手、使用済カードは茨城県社協を通じ県内のボランティア活動振興に、ベルマークは学校に、他の預託品は福祉施設で活用されます。

かみす社協ニュース7月号に掲載したお名前に誤りがありました。ここに訂正し、お詫び致します。(株)三信工業様(使用済切手660枚、タオル60本)

### お寄せください ベルマーク、使用済インクカートリッジ

皆様から寄せられたベルマークは、“ベルマーク仕分けボランティア”によって協賛会社ごとに仕分け・集計されます。1点は1円に換算され、ベルマーク運動の参加校や団体が教材備品を購入することができます。また、その購入金額の1割が被災校や特別支援学校、途上国の教育支援に充てられます。使用済のプリンタインクカートリッジ(エプソン、キヤノン、ブラザー純正品に限る)は1個につきベルマーク5点が発行されます。ご自宅にありましたら、ぜひお寄せ下さい。

